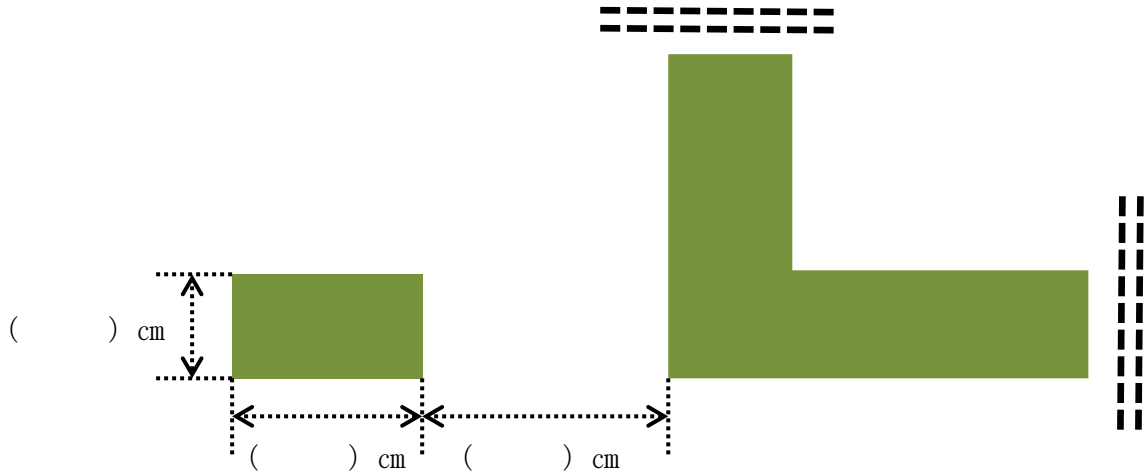


2019年度 ソフトバレーボールリーダー(A)研修事業 競技規則テスト問題

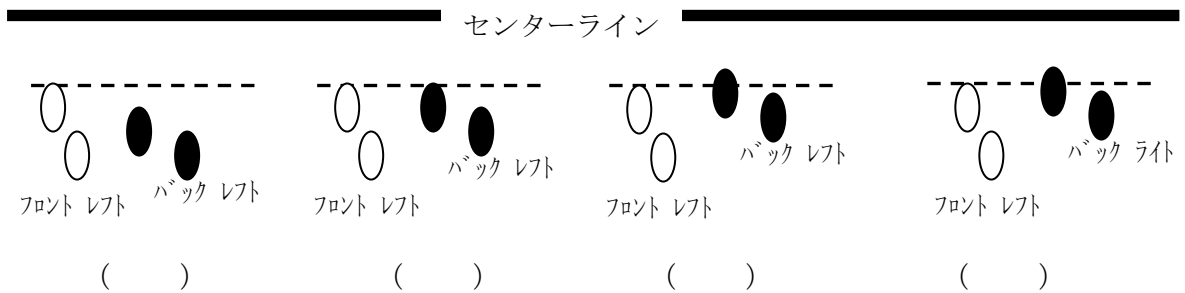
氏 名 _____

- 1 ソフトバレーボールコートのエンドラインの一部を拡大した図です。() に当てはまる寸法を記入しなさい。

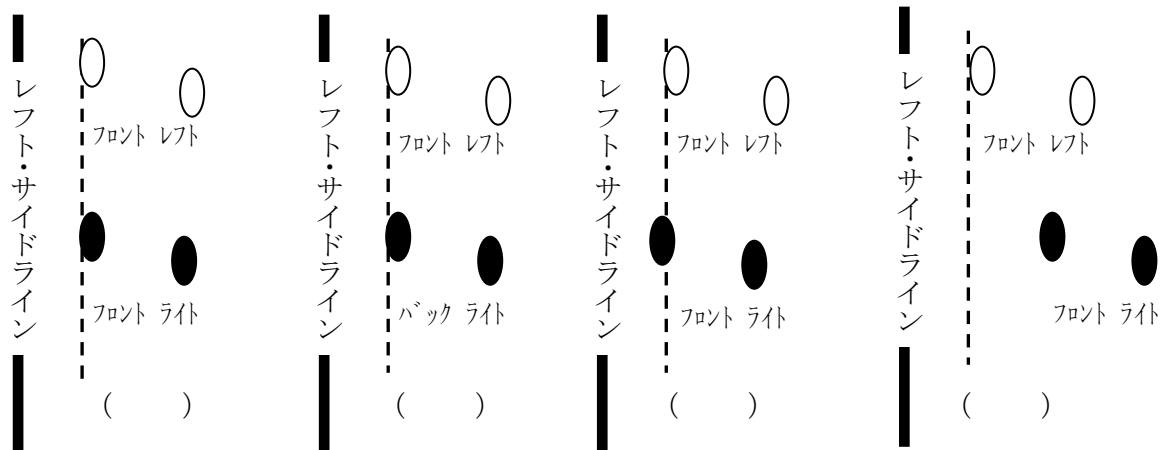


- 2 選手の位置について、アウトオブポジションの反則となるケースには「×」を、反則とならないケースには「○」を、それぞれの () の中に記入しなさい。

(1) フロント選手とバック選手の前後位置関係



(2) レフト選手とライト選手の左右位置関係



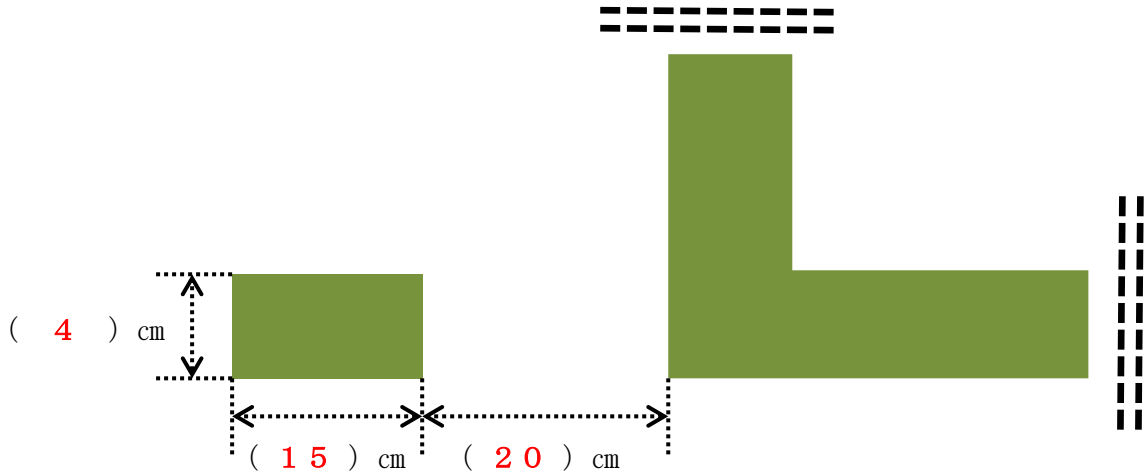
3 各ルール内容を記載した文章で、正しいものには○を、間違っているものには×を（ ）の中に記入しなさい。

1	()	プロトコールにおいて、試合の開始前及び終了時のあいさつでは、エンドライン上に整列するのは、コート上の選手のみでよい。
2	()	プロトコールにおいて、試合の開始前及び終了時のあいさつでは、審判台の前でネットをはさんで、記録席から見て主審は左、副審は右側に位置する。
3	()	アンテナは、ネット上端より 80cm 上方に出るようセットする。
4	()	ボールは、ゴム製で、重さ 210±10 g、円周 76cm±1cm の公益財団法人日本バレーボール協会検定のソフトバレーボールを使用する。
5	()	キッズの部で使用されるボールは、ビニール製で、小学 4 年生以下は重さ 50 g、円周 78cm±1cm、小学 5～6 年生は重さ 100 g、円周 78cm±1cm の公益財団法人日本バレーボール協会検定のソフトバレーボールを使用する。
6	()	有効に登録された選手でも、試合に遅れて来た場合、その試合に出場することはできない。
7	()	試合に遅れて来た監督は、副審を通して主審の許可を得た後は、監督としての権利を行使できる。
8	()	競技参加者は、競技規則の理解・遵守とともに試合中常にフェアプレーの原則と、その精神に基づいた行動をとらねばならない。
9	()	監督は、フリーゾーンの外であれば、6 人制同様に常に立ち歩くことができる。
10	()	チームキャプテンが、必ずしもゲームキャプテンとはならない。
11	()	監督は、競技の中断中に、主審または副審にチームのポジションが正しいか確認することができる。
12	()	競技の中断中、主審または副審に競技規則適用の解釈について質問できるのは監督だけである。
13	()	各チームは、1 回につき 30 秒間のタイムアウトを、1 セットに最大 2 回認められ、競技の再開をすることなく連続して要求することができる。
14	()	各チームは、1 セットに 4 回（4 人）以内の選手の交代が認められ、競技の再開をすることなく連続して要求することができる。
15	()	2 人以上の選手交代を要求する場合、公式ハンドシグナルのみを示せばよい。
16	()	負傷などで選手交代が正規にも例外的にできない場合、その選手に与えられる回復のための 3 分間のタイムアウトは、当該試合中一人 1 回のみである。
17	()	サーバーのフットフォルトやサービス側のアウトオブポジションとレシーブ側のアウトオブポジションが同時に起こった場合は、ノーカウントとなる。
18	()	ファミリーの部やキッズの部において、小学生は学年に関係なく、ショートサービスゾーンからサービスをすることができる。
19	()	選手は、ブロックを除き連続して 2 回ボールに触れた場合、全て反則となる。
20	()	サービスとブロックを除き、相手チームに向かって片手でボールを送る行為がアタックヒットである。
21	()	ブロックとは、選手がネットに接近して相手チームから送られてくるボールを、ネットの上端より上方で阻止する行為である。
22	()	ボールの一部がラインに触れただけでは、ボールインとはならない。
23	()	インプレー中、選手がネットやアンテナ、支柱に触れた場合、タッチネットの反則となる。
24	()	パッシングザセンターラインの反則は、センターラインを完全に越え、相手コートに触れたとき、または肘や膝、頭などの身体部分が相手コートに接触した場合である。ただし、片方の足（両足）または片方の手（両手）の一部がセンターラインに接触しているか、その真上に残っていれば許される。
25	()	副審は、自らの責務以外の反則を確認した場合、吹笛することなく公式ハンドシグナルのみで主審に合図することができる。

2019 年度 ソフトバレーボールリーダー(A)研修事業
 競技規則テスト問題 **回答**

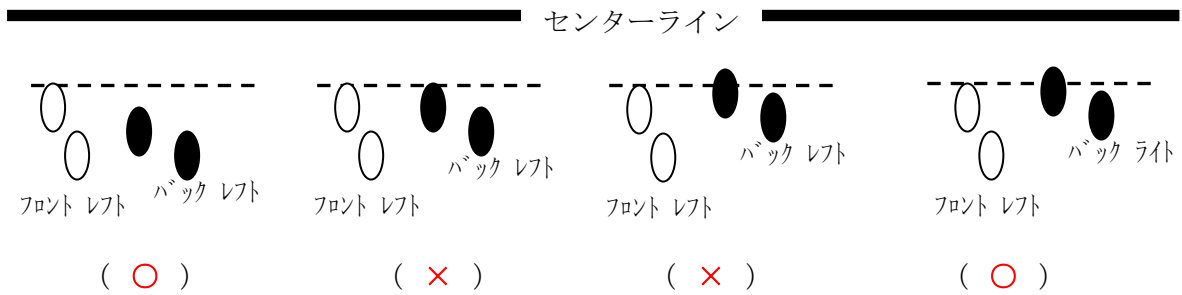
氏 名 _____

1 ソフトバレーボールコートのエンドラインの一部を拡大した図です。() に当てはまる寸法を記入しなさい。

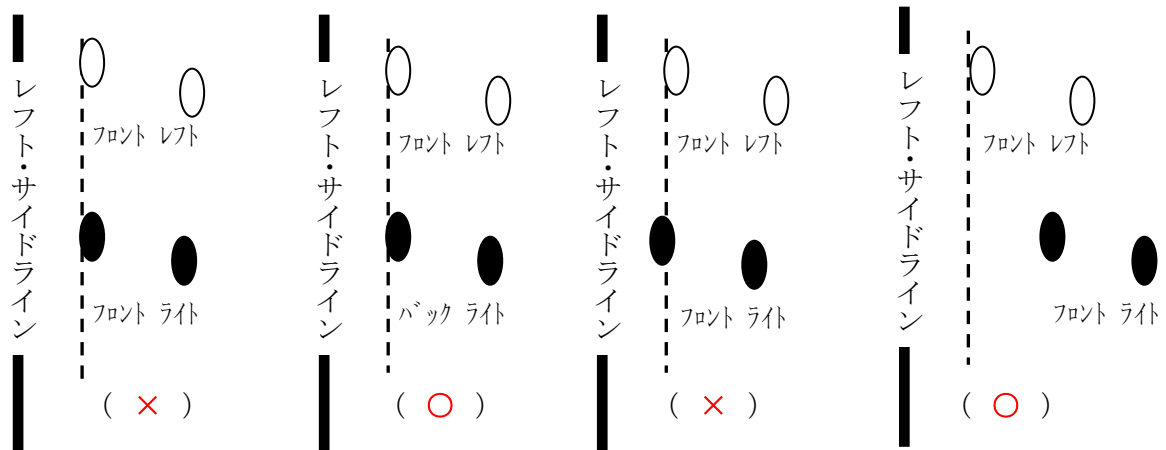


2 選手の位置について、アウトオブポジションの反則となるケースには「×」を、反則とならないケースには「○」を、それぞれの () の中に記入しなさい。

(1) フロント選手とバック選手の前後位置関係



(2) レフト選手とライト選手の左右位置関係



3 各ルール内容を記載した文章で、正しいものには○を、間違っているものには×を（ ）の中に記入しなさい。

1	(×)	プロトコールにおいて、試合の開始前及び終了時のあいさつでは、エンドライン上に整列するのは、コート上の選手のみである。
2	(○)	プロトコールにおいて、試合の開始前及び終了時のあいさつでは、審判台の前でネットをはさんで、記録席から見て主審は左、副審は右側に位置する。
3	(×)	アンテナは、ネット上端より 80cm 上方に出るようセットする。
4	(×)	ボールは、ゴム製で、重さ 210±10 g、円周 76cm±1cm の公益財団法人日本バレーボール協会検定のソフトバレーボールを使用する。
5	(○)	キッズの部で使用されるボールは、ビニール製で、小学 4 年生以下は重さ 50 g、円周 78cm±1cm、小学 5～6 年生は重さ 100 g、円周 78cm±1cm の公益財団法人日本バレーボール協会検定のソフトバレーボールを使用する。
6	(×)	有効に登録された選手でも、試合に遅れて来た場合、その試合に出場することはできない。
7	(○)	試合に遅れて来た監督は、副審を通して主審の許可を得た後は、監督としての権利を行使できる。
8	(○)	競技参加者は、競技規則の理解・遵守とともに試合中常にフェアプレーの原則と、その精神に基づいた行動をとらねばならない。
9	(×)	監督は、フリーゾーンの外であれば、6 人制同様に常に立ち歩くことができる。
10	(○)	チームキャプテンが、必ずしもゲームキャプテンとはならない。
11	(×)	監督は、競技の中断中に、主審または副審にチームのポジションが正しいか確認することができる。
12	(×)	試合の中断中、主審または副審に競技規則適用の解釈について質問できるのは監督だけである。
13	(○)	各チームは、1 回につき 30 秒間のタイムアウトを、1 セットに最大 2 回認められ、競技の再開をすることなく連続して要求することができる。
14	(×)	各チームは、1 セットに 4 回（4 人）以内の選手の交代が認められ、競技の再開をすることなく連続して要求することができる。
15	(×)	2 人以上の選手交代を要求する場合、公式ハンドシグナルのみを示せばよい。
16	(○)	負傷などで選手交代が正規にも例外的にできない場合、その選手に与えられる回復のための 3 分間のタイムアウトは、当該試合中一人 1 回のみである。
17	(×)	サーバーのフットフォルトやサービス側のアウトオブポジションとレシーブ側のアウトオブポジションが同時に起こった場合は、ノーカウントとなる。
18	(×)	ファミリーの部やキッズの部において、小学生は学年に関係なく、ショートサービスゾーンからサービスをすることができる。
19	(×)	選手は、ブロックを除き連続して 2 回ボールに触れた場合、全て反則となる。
20	(×)	サービスとブロックを除き、相手チームに向かって片手でボールを送る行為がアタックヒットである。
21	(○)	ブロックとは、選手がネットに接近して相手チームから送られてくるボールを、ネットの上端より上方で阻止する行為である。
22	(×)	ボールの一部がラインに触れただけでは、ボールインとはならない。
23	(×)	インプレー中、選手がネットやアンテナ、支柱に触れた場合、タッチネットの反則となる。
24	(○)	パッシングザセンターラインの反則は、センターラインを完全に越え、相手コートに触れたとき、または肘や膝、頭などの身体部分が相手コートに接触した場合である。ただし、片方の足（両足）または片方の手（両手）の一部がセンターラインに接触しているか、その真上に残っていれば許される。
25	(○)	副審は、自らの責務以外の反則を確認した場合、吹笛することなく公式ハンドシグナルのみで主審に合図することができる。

○問題の根拠（ルールブック記載箇所）

設問1	P15 第1章-1-(2)-4),	P15 第1章-1-(3)-1)	P16 第1図
設問2(1)	P22 第3図		
設問2(2)	P23 第4図		
設問3 1	プロトコール P79 3分前	P80 試合終了後	
設問3 2	プロトコール P79 3分前	P80 試合終了後	
設問3 3	P16 第1章-2-(3)		
設問3 4	P17 第1章-3		
設問3 5	小学生競技規則 P47 第1章-3-(1)		
設問3 6	P18 第2章-2-(2)		
設問3 7	P18 第2章-2-(2)		
設問3 8	P18 第2章-3-(1)-1)		
設問3 9	P18 第2章-3-(1)-3),	P19 第2章-3-(2)-1)	
設問3 10	P19 第2章-3-(3)-3)		
設問3 11	P19 第2章-3-(2)-3),	P19 第2章-3-(3)-2)-③	
設問3 12	P19 第2章-3-(2)-3),	P19 第2章-3-(3)-2)-②	
設問3 13	P23 第3章-5-(1)-1),	P23 第3章-5-(1)-2)	
設問3 14	P24 第3章-5-(2)-1),	P24 第3章-5-(2)-3)	P24 第3章-5-(3)-3)
設問3 15	P24 第3章-5-(3)-1),	P24 第3章-5-(3)-2)	
設問3 16	P26・27 第4章-4-(1)		
設問3 17	P28 第5章-1-(4)-7)		
設問3 18	P28 第5章-1-(4)-6),	小学生競技規則 P55 第5章-1-(4)-5)	
設問3 19	P29 第5章-2-(2),	P29 第5章-2-(4)	
設問3 20	P29 第5章-3-(1)		
設問3 21	P30 第5章-4-(1)		
設問3 22	P31 第5章-5-(1)		
設問3 23	P33 第5章-6-(10)		
設問3 24	P33 第5章-6-(12)		
設問3 25	P62 付則第1章-2-(1)-4)		